



|  |  |
|--|--|
| <p>【教材・教具名】<br/>カード釣り</p>  | <p>【教科・領域】<br/>算数</p>  |
| <p>【教材の使用材料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ つりざお（ラップの芯、たこ糸、強力磁石）</li> <li>・ 動物カード（イラストをラミネートし、裏面にマグネットシートを貼った）</li> <li>・ 籠（人数分）</li> <li>・ 数字カード（厚みのあるカラーボードを貼り、マグネットシートを貼った）</li> <li>・ 5升の枠</li> </ul>  |  |
| <p>【ねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 左から順番に数えることを知る。</li> <li>・ 数えていった最後の数字を集合数として捉える。</li> </ul>   |  |
| <p>○使用方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①糸の先に付いた磁石を使って、動物カードを釣る。</li> <li>②釣ったカードをかごに入れる。</li> <li>③制限時間がきたら、釣ったカードを升に貼っていく。</li> <li>④動物カードがない升の数字カードは除く。</li> <li>⑤釣ったカードと同じ数字カードを選ぶ。</li> </ol> <p>○工夫した所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ この教材では、1から5までの数の習得を目標としているので、五つ以下のカードが釣れる時間設定をした。</li> <li>・ 意欲的に取り組むことができるよう、さまざまな動物のカードを用意した。</li> <li>・ カードを入れる籠に児童の顔写真を貼り、どこに入れたらよいのかを分かりやすくした。</li> </ul> |    |
| <p>○効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師の支援がなくても、左から動物カードを貼っていくことができるようになった。</li> <li>・ 活動を繰り返すことで、動物カードがいくつか、数字カードを自分で選ぶことができる児童もいた。</li> <li>・ 6以上の数字に取り組む際には、升を増やして取り組むとよい。</li> </ul>  |  |